

公共政策フォーラム 2017 in 熊本

報告書

平成 29 年 10 月 14 日(土)・15 日(日)

主催: 公共政策フォーラム 2017 in 熊本実行委員会
(日本公共政策学会・熊本市・熊本大学)

後援: 熊本商工会議所・熊本日日新聞社

はじめに

「公共政策フォーラム 2017 in 熊本」は、平成29年10月14日（土）及び15日（日）の2日間にわたり、「市民力・地域力を生かした災害に強いまちづくり」というテーマで開催しました。前回のフォーラム同様、初日に大学生による政策コンペ「予選会」を行い、2日目に大学生による政策コンペ「決勝戦」という構成で行いました。全国21大学25チーム、266名の大学生が政策提案を行いました。予選会では会場を2つに分け審査を行い、上位6チームを選考し、2日目に予選会を突破した6チームから決勝戦として再度発表してもらい審査をしました。決勝戦に進出した6チームには、最優秀賞となる日本公共政策学会賞をはじめ、熊本市賞、熊本大学賞、熊本商工会議所賞、熊本日日新聞社賞、公共政策フォーラム 2017 in 熊本実行委員会賞の6つの賞をそれぞれ授与しました。若者らしい斬新で独創性のある視点で様々な提案がなされ、会場は熱気に包まれました。

2日目は、大学生による政策コンペ決勝戦のほかに、今回のテーマと同じ演題で大西一史熊本市長の講話を行いました。また、災害という今回のテーマに関連して、昨年熊本地震の際に実際に使用した避難食を活用して、学生達にアルファ米などを使ったレトルト食品をその場で味わっていただき、大変好評をいただきました。

本市では、人口減少・少子高齢化など多くの課題に直面している中で、今後更に持続可能な都市として発展していくために、市民と一緒に熊本の未来を創造するための設計図となる「熊本市第7次総合計画」を平成28年3月に策定しました。また、同年4月の熊本地震を踏まえて、平成28年10月に策定した「熊本市震災復興計画」に基づき、安全・安心な熊本の再生と創造に向けて取り組んでおります。そのような中、震災から1年半となる時期に開催された「公共政策フォーラム 2017 in 熊本」で大学生から斬新で独創性ある提案をいただいたことは、本市にとって、また市民にとっても大変有意義であり、震災からの復興へむけた今後のまちづくりの大きなヒントになると考えております。

最後に、フォーラムを開催するにあたり、多大なご尽力を賜りました日本公共政策学会、熊本大学をはじめ、熊本商工会議所、熊本日日新聞社の関係者の皆様、またご参加いただきました多くの方々に厚く御礼申し上げます。

平成29年11月

公共政策フォーラム 2017 in 熊本実行委員会

実行委員長 古庄 修治

(熊本市政策局長)

目次

大学生による政策コンペ テーマ	5
公共政策フォーラム 2017 in 熊本 実施要項	6
大学生による政策コンペ 実施要領	7
大学生による政策コンペ 審査員配置表	10
大学生による政策コンペ 審査基準	11
交流会等の日程	12
公共政策フォーラム 2017 in 熊本 プログラム	13
大学生による政策コンペ 予選会発表スケジュール	14
大学生による政策コンペ 決勝戦発表スケジュール	16
大学生による政策コンペ 審査結果	17
「公共政策フォーラム 2017 in 熊本」の様子	18
公共政策フォーラム 2017 in 熊本 実施体制	19
公共政策フォーラム 2017 in 熊本 準備状況	19
公共政策フォーラム 2017 in 熊本 決算書	20

大学生による政策コンペ テーマ

『市民力・地域力を生かした災害に強いまちづくり』

二度にわたる震度7の激震に襲われた平成28年熊本地震では、災害情報の発信、支援物資の搬送、障がい者等に配慮した避難所運営など、様々な課題が浮き彫りになりました。一方で、地域の連携により避難所運営が円滑にできた例もあり、「地域力」を生かしたまちづくりが今後の復興へのキーワードとなっています。

2011年の東日本大震災、昨年熊本地震、さらには今後予想される南海トラフ地震など、いつどこで起こるか分からない災害への備えとその対応は、市民、地域、行政、誰しものが考えるべき重要なテーマです。

今回の学生による政策コンペにおいては、テーマである、「市民力・地域力を生かした災害に強いまちづくり」について、学生諸君の様々な視点からの現状分析と事例研究等に基づく、熊本市をはじめとした全国の自治体への政策提言を望むものです。

公共政策フォーラム 2017 in 熊本 実施要項

1. 開催日

平成 29 年 10 月 14 日（土）、15 日（日）

2. 会 場

熊本大学 黒髪南地区（熊本市中央区黒髪 2 丁目 39 番 1 号）

3. 日 程

≪ 1 日目 ≫

内 容	時 間	会 場
開会式	12:00 ~ 12:15	工学部百周年記念館
政策コンペ予選会	12:30 ~ 18:10	第 1 会場：工学部教室 211 第 2 会場：工学部教室 212
交流会 (審査結果発表・講評)	18:10 ~ 20:00	生協学生食堂 FORICO（フォリコ）

≪ 2 日目 ≫

内 容	時 間	会 場
政策コンペ決勝戦	9:00 ~ 11:25	工学部百周年記念館
基調講演（熊本市長）	11:35 ~ 12:15	
結果発表・表彰・講評	12:15 ~ 12:25	
閉会式	12:25 ~ 12:30	

4. 政策コンペについて

別紙 1 の「大学生による政策コンペ実施要領」をご覧ください。

5. 交流会について

予選会の審査結果発表、講評、交流会については、別紙 2 の「交流会等の日程」をご覧ください。

6. 問合せ先

公共政策フォーラム 2017 in 熊本 事務局

熊本市政策局政策企画課

〒860-8601 熊本市中央区手取本町 1 番 1 号

TEL : 096-328-2035 FAX : 096-324-1713

E-Mail : seisakukikaku@city.kumamoto.lg.jp

大学生による政策コンペ 実施要領

1. 開催日時

【予選会】平成 29 年 10 月 14 日（土） 12:30～18:10

【決勝戦】平成 29 年 10 月 15 日（日） 9:00～11:25

2. 会場

【予選会】第 1 会場：熊本大学 工学部教室 2 1 1

第 2 会場：熊本大学 工学部教室 2 1 2

【決勝戦】熊本大学 工学部百周年記念館

3. 政策発表について

(1) 発表スケジュール

P 1 4、1 5 のとおり。

(2) 発表時間

- ・ 1 チームの発表時間は 1 5 分。
- ・ 発表後、審査員との質疑応答を 5 分程度。
- ・ 発表と質疑応答で 1 チーム 2 0 分、発表にかかる準備や撤収の時間は含みません。

(3) 発表方法

- ・ マイクロソフト社のパワーポイントを使い、プロジェクターでスクリーンへ投影して行うものとします。
- ・ パワーポイントの電子データは、E-mail で、10 月 12 日（木）までに事務局あて提出してください。

(4) 発表用パソコン

パソコン・プロジェクター・スクリーンは事務局で用意します。

※OS：Windows7、マイクロソフトパワーポイント 2010 内臓パソコン

(5) 配布資料

小論文とは別に発表資料を配布する場合は、30部印刷し当日ご持参ください。

※資料の最初のページに表題、大学名・学部名・ゼミ名を記載してください。

4. リハーサルについて

本番会場での事前のリハーサルはできません。

5. 審査について

(1) 審査方法

- ①参加チームを 2 会場に分け、予選会として審査します。
- ②審査により上位 6 チームを選考します。
- ③選考された 6 チームは、2 日目に決勝戦として再度プレゼンを行っていただきます。

※決勝戦の発表順はくじ引きにより決定します。

④決勝戦のプレゼンを審査し、最優秀賞等を選考します。

(2) 表彰の内訳

- 日本公共政策学会長賞（最優秀賞）
- 熊本市賞
- 熊本大学長賞
- 熊本商工会議所賞
- 熊本日日新聞社賞
- 公共政策フォーラム 2017 in 熊本実行委員会賞

(3) 審査基準

P11「政策コンペ審査基準」を参照ください。

6. 小論文の提出について

(1) 提出期限

9月25日（月）（必着）

(2) 小論文の作成形式

- 小論文は図表を含む1万字程度としてください。
- 用紙は以下のとおりに設定してください。
 - ・A4 縦向きで横書き
 - ・余白は上下左右すべて 25mm
 - ・文字数×行数は 40 字×40 行
 - ・フォントは MS 明朝で 10.5 ポイント
- 最初のページに表題、大学名・学部名・ゼミ名（指導教員氏名）、代表者氏名、発表者氏名、参加者氏名を記載してください。
 - ※表題：中央揃え・フォントサイズ 16 ポイント
 - その他の項目：左揃え・フォントサイズ 10.5 ポイント
- 表題等の次（本文の前）に「梗概」（概ね 800 字程度）を記載してください。
- パワーポイントのスライドを小論文に入れる場合、1 ページ当たり最大 6 スライドまでとしてください。

(3) 提出先・提出方法

- ・事務局に、E-mail にて **PDF ファイル**で提出してください。
- ・メールの件名を「公共政策フォーラム小論文（チーム名）」としてください。

(4) その他

- 小論文集は 1 チーム 2 冊のみの配布とさせていただきます。
 - ※フォーラム終了後、市ホームページに掲載しますので、必要な方は各自でダウンロードしてください。

○小論文集は、提出いただく PDF ファイルをそのまま白黒印刷とします。

7. 問合せ先

公共政策フォーラム 2017 in 熊本 事務局

熊本市政策局政策企画課

〒860-8601 熊本市中央区手取本町 1 番 1 号

TEL : 096-328-2035 FAX : 096-324-1713

E-Mail : seisakukikaku@city.kumamoto.lg.jp

大学生による政策コンペ 審査員配置表

<予選>

【審査員】

≪ 1 班（第 1 会場：工学部教室 2 1 1） ≫

氏 名	所 属
岡本 哲和	日本公共政策学会 副会長（関西大学教授）
伊藤 久美子	日本公共政策学会 理事（三重県地域連携部 南部地域活性化局 局長）
江 幸博	熊本市政策局 総合政策部 政策企画課長
本田 清悟	熊本日日新聞社 熊本総局長

≪ 2 班（第 2 会場：工学部教室 2 1 2） ≫

氏 名	所 属
加藤 淳子	日本公共政策学会 副会長（東京大学大学院教授）
永松 俊雄	日本公共政策学会 会員（崇城大学教授）
宮崎 晶兆	熊本市政策局 総合政策部 政策企画課 副課長
田中 尚人	熊本大学政策創造研究教育センター 准教授

<決勝戦>

【審査員】

氏 名	所 属
後 房雄	日本公共政策学会 会長（名古屋大学大学院教授）
岡本 哲和	日本公共政策学会 副会長（関西大学教授）
加藤 淳子	日本公共政策学会 副会長（東京大学大学院教授）
古庄 修治	熊本市政策局長
上野 眞也	熊本大学政策創造研究教育センター 教授

大学生による政策コンペ審査基準

1. 審査対象

小論文及び発表内容

2. 審査基準

以下の6項目について、各5点ずつ配点し30点満点で採点します。

N O.	審査項目	配点
I	テーマ及び課題の把握が的確かどうか。	5
II	論点の明晰さ	5
III	表現の適切さ	5
IV	具体性・実現性	5
V	独創性	5
VI	発表時間の適切さ（※下記3.参照）	5
採点合計		30

3. 口頭発表時間の減点方法

上記2「審査基準」の中の、「VI：発表時間の適切さ」については、発表時間15分に対して発表時間の長短で減点を行います。また、審査委員の質問時間を5分程度予定しています。

実際の発表時間		減点数
5分未満		-3
5分以上	10分未満	-2
10分以上	13分未満	-1
13分以上	15分以内	0
15分以上	16分以内	-1
16分以上	17分以内	-2
17分以上	18分以内	-3
18分超		-4

※発表時間が18分を超えた場合は、その時点で発表を打ち切らせていただきますので、あらかじめご承知おきください。

交流会等の日程

1. 日 時

平成29年10月14日（土） 18:45～20:00

2. 会 場

生協学生食堂 FORICO（フォリコ）

3. 参加者

政策コンペ参加大学生や大学教授、学会関係者、行政関係者が参加します。（248名参加）

4. 日 程

①開会（18:45）

②政策コンペ予選会の結果発表（18:45～18:50）

各審査会場の上位3チーム（決勝戦進出チーム）を発表します。

③講評（18:50～18:55）

各審査会場の審査員代表から、政策コンペの講評をいただきます。

④決勝戦発表順のくじ引き（18:55～19:00）

くじ引きにより決勝戦の発表順を決定します。

⑤閉会（20:00）

5. 参加費

1人 2,500円

※当日、開会式前の受付で徴収します。チーム毎に参加者分を取りまとめの上、お支払いいただきますようお願いいたします。

公共政策フォーラム 2017in 熊本 プログラム

【第1日】

日にち : 平成29年10月14日 (土)

会場 : 熊本大学黒髪南地区 工学部百周年記念館、工学部教室 211・212

内容 : 大学生による政策コンペ予選会

12:00~12:15	開会式
12:30~18:10	政策コンペ予選会 発表及び質疑応答
18:10~18:40	審査
18:45~20:00	交流会 (審査結果発表・講評)

【第2日】

日にち : 平成29年10月15日 (日)

会場 : 熊本大学黒髪南地区 工学部百周年記念館

内容 : 大学生による政策コンペ決勝戦・講演

9:00~11:25	政策コンペ決勝戦
11:35~12:15	基調講演 (熊本市長) / (審査)
12:15~12:25	審査結果発表・表彰・講評
12:25~12:30	閉会式

会場案内図



大学生による政策コンペ予選会発表スケジュール

《第1会場：工学部教室 211》

時間		大学名	発表テーマ
1	12:30 ～12:50	東海大学 岡本ゼミ	地域住民のつながりを活かした災害に強いまちづくり
2	12:55 ～13:15	専修大学 石川ゼミ	地域と学校が一体となった災害教育の提案
3	13:20 ～13:40	静岡文化芸術大学 片山ゼミ	Arts でつながるご近所さんー東海地震の被害が予想される浜松への提言ー
4	13:45 ～14:05	静岡県立大学 金川ゼミ	人とつながる地域コミュニティ～愛のあるまちを目指して～
休憩			
5	14:20 ～14:40	法政大学 廣瀬ゼミ	進化する防災まちづくり～新たな地区防災計画の提案～
6	14:45 ～15:05	愛知学院大学 小林ゼミ	パートナーと共に歩む地域～今がつながり未来になる～
7	15:10 ～15:30	北九州市立大学 檜原ゼミ	“かたりんぐ” ネットワークと協働による災害に強いまちづくりー熊本県南阿蘇村を事例にしてー
8	15:35 ～15:55	明治大学 塚原ゼミ	自主防災組織の再生を目指してー若者に調べ、考え、参加してもらうためにー
休憩			
9	16:10 ～16:30	追手門学院大学 奥井ゼミ	市民力を生かした災害に強いまちづくり 避難所増設とソーシャルキャピタル向上
10	16:35 ～16:55	日本大学 中川ゼミ	新しい地域主体と資金調達方法による安心・安全なまちづくり：SIB, TIF, 平成の御救小屋
11	17:00 ～17:20	東京工業大学 西田ゼミ	普遍的かつ信頼度の高い被災情報の共有プラットフォームの提案
12	17:25 ～17:45	熊本県立大学 ※ 井寺ゼミ	官民協働による避難場所設置策ーCSR を基盤にした「タミシエル事業（認定・表彰制+災害時応援協定制）」の提案ー

※「ゲスト参加枠」：政策コンペ参加学生と開催地熊本の大学生との研究交流の場を設けることを目的として設定。

《第2会場：工学部教室 212》

時間		大学名	発表テーマ
1	12:30 ～12:50	宮城大学 石田ゼミ	生活防災における NPO の可能性—防災に対する意識改革—
2	12:55 ～13:15	関西大学 永田ゼミ	耕作放棄地を活用したコミュニティの強化事業～まちづくりに溶け込んだ防災～
3	13:20 ～13:40	明治大学 木寺ゼミ	スクールコミュニティで人と人が繋がるまちづくり
4	13:45 ～14:05	和光大学 稲田ゼミ	地域力、市民力を生かした車中泊対策
休憩			
5	14:20 ～14:40	愛知学院大学 村田ゼミ	若者の震災時における生き残る力を高める「生きる力キャンプ」の可能性
6	14:45 ～15:05	日本大学 岩崎ゼミ	未来を守る防災フェス～地域力が繋ぐ安全な輪～
7	15:10 ～15:30	愛知大学 野田ゼミ	ソーシャル・キャピタルの見える“化”で人を救える“化”？
8	15:35 ～15:55	長野県短期大学 野口ゼミ	おらがムラの防災力—ずくませ！ 店出せ！ ジャッキ出せ！—
休憩			
9	16:10 ～16:30	大東文化大学 齋藤ゼミ	地域力はあなたを生かす—「結び目の家」による地域ネットワークの形成—
10	16:35 ～16:55	久留米大学 土肥ゼミ	九州北部豪雨と福岡県八女市星野村の棚田の復興～星野村に学ぶ、災害からの復興に必要なもの～
11	17:00 ～17:20	同志社大学 真山ゼミ	災害避難生活の質的向上—避難所予約制の検討
12	17:25 ～17:45	熊本大学 ※ 伊藤ゼミ	防災におけるソーシャル・キャピタルの重要性と高齢社会問題への応用
13	17:50 ～18:10	熊本県立大学 ※ 澤田ゼミ	震災における避難所運営に関する提言—熊本地震調査研究プロジェクトを踏まえて—

※「ゲスト参加枠」：政策コンペ参加学生と開催地熊本の大学生との研究交流の場を設けることを目的として設定。

大学生による政策コンペ決勝戦発表スケジュール

《工学部百周年記念館》

順番	大学名	発表テーマ
1	明治大学 木寺ゼミ	スクールコミュニティで人と人が繋がるまちづくり
2	日本大学 中川ゼミ	新しい地域主体と資金調達方法による安心・安全なまちづくり：SIB, TIF, 平成の御救小屋
3	愛知学院大学 小林ゼミ	パートナーと共に歩む地域～今がつながり未来になる～
4	大東文化大学 齋藤ゼミ	地域力はあなたを生かす—「結び目の家」による地域ネットワークの形成—
5	北九州市立大学 檜原ゼミ	“かたりんぐ” ネットワークと協働による災害に強いまちづくり—熊本県南阿蘇村を事例にして—
6	関西大学 永田ゼミ	耕作放棄地を活用したコミュニティの強化事業～まちづくりに溶け込んだ防災～

大学生による政策コンペ 審査結果

◇日本公共政策学会会長賞（最優秀賞）

明治大学 木寺ゼミ

『スクールコミュニティで人と人が繋がるまちづくり』

◇熊本日日新聞社賞

北九州市立大学 檜原ゼミ

『“かたりんぐ” ネットワークと協働による災害に強いまちづくり
—熊本県南阿蘇村を事例にして—』

◇熊本商工会議所賞

日本大学 中川ゼミ

『新しい地域主体と資金調達方法による安心・安全なまちづくり：SIB, TIF,
平成の御救小屋』

◇熊本大学長賞

愛知学院大学 小林ゼミ

『パートナーと共に歩む地域～今がつながり未来になる～』

◇熊本市賞

関西大学 永田ゼミ

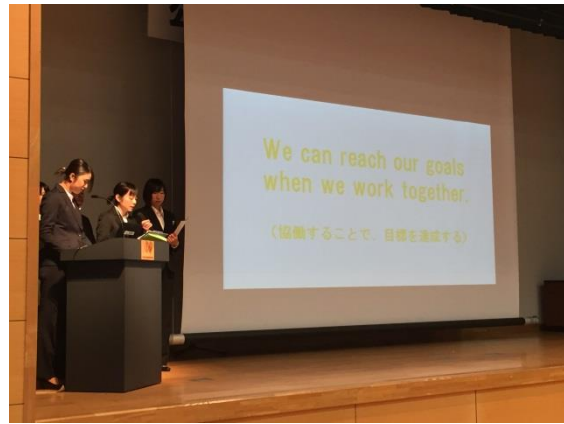
『耕作放棄地を活用したコミュニティの強化事業～まちづくりに溶け込んだ防
災～』

◇公共政策フォーラム 2017in 熊本実行委員会賞

大東文化大学 齋藤ゼミ

『地域力はあなたを生かす—「結び目の家」による地域ネットワークの形成
—』

「公共政策フォーラム 2017in 熊本」の様子



公共政策フォーラム 2017in 熊本 実施体制

【公共政策フォーラム 2017in 熊本実行委員会】

役 職	所 属	役 職	氏 名
委員長	熊本市政策局	局 長	古庄 修治
副委員長	日本公共政策学会	2017年度公共政策フォーラム委員長	昼間 守仁
委員	日本公共政策学会	会 員	永松 俊雄
委員	熊本大学熊本創生推進機構 政策創造研究教育センター	教 授	上野 眞也
委員	熊本大学熊本創生推進機構 政策創造研究教育センター	准教授	田中 尚人
委員	熊本市政策局総合政策部 政策企画課	課 長	江 幸博
監事	熊本市政策局復興総室	室 長	原口 誠二

公共政策フォーラム 2017in 熊本 準備状況

- 2019年3月25日 開催要領を公表、参加申込み受付開始
- 2019年5月31日 公共政策フォーラム 2017in 熊本実行委員会の設立
- 2019年6月1日 第1回 公共政策フォーラム 2017in 熊本実行委員会の開催
- 2019年7月14日 第2回 公共政策フォーラム 2017in 熊本実行委員会の開催
- 2019年6月30日 参加申込締切
- 2019年9月21日 第3回 公共政策フォーラム 2017in 熊本実行委員会の開催
- 2019年9月25日 小論文提出締切
- 2019年10月12日 発表データ提出締切
- 2019年10月14日 公共政策フォーラム 2017in 熊本第1日（政策コンペ予選会）
- 2019年10月15日 公共政策フォーラム 2017in 熊本第2日（政策コンペ決勝戦）

公共政策フォーラム 2017in 熊本 決算書

【収入】

内訳(項目・内容)	予算額(円)	決算額(円)	備考
負担金	600000	600,000	
日本公共政策学会負担金	300000	300,000	
熊本市負担金	300000	300000	
合計	600000	600,000	

【支出】

内訳(項目・内容)	予算額(円)	決算額(円)	備考
報償費	0	10,000	
審査員報酬費※	0	10,000	日額10,000円 熊本日日新聞社 審査員1名
人件費	40,000	34,000	
アルバイトスタッフ	40,000	34,000	時給1,000円、9:00~18:30(うち1時間休憩) 作業内容:設営、受付、会場内対応 8,500円×4名=34,000円
需用費	305,000	445,028	
諸経費(文具関係)	12,000	8,100	印鑑代 8,100円
食糧費※	30,000	32,100	審査員交流会参加費・・・20,000円 (学会6名、熊大2名) 8名×2,500円=20,000円 地酒(交流会)・・・12,100円 梅酒1,220円(税抜き)×4本=4,880円 梅酒1,130円(税抜き)×4本=4,520円 梅酒2,700円(税抜き)×1本=2,700円
立看板、横看板※	63,000	68,040	立看板(工学部百周年記念館前、熊大キャンパス入り口) 横看板(工学部百周年記念館ステージ)
印刷費(小論文、プログラム)※	200,000	238,788	小論文集 70部 (参加チーム52部+審査委員用11部+予備7部) プログラム 360部 (学生272部、審査員11部、指導教員26部、一般観覧者30部、予備21部)
参加賞	0	98,000	くまもんマグネット 350円×280部=98,000円
役務費	50,000	1,944	
テープ起こし	50,000	0	
振込手数料	0	1,944	※振込手数料(540円×3+324=1,944円)
使用料及び賃借料	0	108,750	
会場使用料※	0	108,750	■工学部百周年記念館 10/14 10:00~13:00(3h) 10/15 8:00~13:30(5.5h) ■工学部2号館211教室 10/14 9:30~16:30(9h) ■工学部2号館212教室 10/14 9:30~16:30(9h)
予備費	205,000	0	
予備費	205,000	0	
その他	0	278	
雑費	0	278	決算調整に伴う熊本市一般会計歳入への支出
合計	600,000	600,000	
残 額	0	0	

『公共政策フォーラム 2017 in 熊本 報告書』
発行：平成 29 年 11 月
公共政策フォーラム 2017 in 熊本実行委員会事務局
(熊本市政策企画課内)

〒860-8601 熊本市中央区手取本町 1 番 1 号
TEL : 096-328-2035 (直通) FAX : 096-324-1713
E-mail : seisakukikaku@city.kumamoto.lg.jp